

作成日：2011年11月17日

改訂日：2021年1月01日

安全データシート

1. 製品および会社情報

製品名 : 分解液
パーツNo. : D370190-A
会社名 : 株式会社HIRANUMA
住 所 : 〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1739
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : (0120)47-6411 FAX番号 : (029)240-0381

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分3
自然発火性液体 : 区分外
自己発熱性化学品 : 区分外
水反応可燃性化学品 : 区分外
金属腐食性物質 : 区分外

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2B
発がん性 : 区分1A
生殖毒性 : 区分1A
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 区分1(肝臓)、区分2(中枢神経系)

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 引火性液体および蒸気
眼刺激
発がんのおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ

	長期または反復暴露による肝臓の障害 長期または反復暴露による中枢神経系の障害のおそれ
注意書き	
安全対策	: 取扱い注意事項をよく読み、理解してから取り扱う。 熱、火花、裸火などの着火源から遠ざける。 容器は密閉する。 移送、攪拌する場合は、容器および受け器をアースする。 防爆型の機器を使用する。 火花を発生しない工具を使用する。 静電気放電に対する措置を講ずること。 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しない。 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。 取扱い後はよく手を洗う。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
救急処置	: 気分が悪いときは、医師の処置を受ける。 眼に入った場合：流水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを装着して容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 眼の刺激が続く場合：医師の処置を受ける。 皮膚または髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ。皮膚を流水で洗う。 暴露した場合：医師の処置を受ける。
保管	: 容器は密閉して換気の良い場所で保管する。涼しいところに置く。施錠して保管する。
廃棄	: 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別

	: 混合物
化学名または物質	: カタラーゼ(細菌由来)
成分および含有量	: カタラーゼ(細菌由来) 数%以下 エタノール 10% グリセリン 30% 水 約60%
化学式(化学的性質)	: カタラーゼ(細菌由来) 酵素 エタノール C_2H_5OH グリセリン $HOCH_2CHOHCH_2OH$ 水 H_2O
官報公示整理番号	
化審法	: カタラーゼ(細菌由来) なし

	エタノール	2-202
	グリセリン	2-242
	水	なし
安衛法	: カタラーゼ(細菌由来)	なし
	エタノール	公表
	グリセリン	公表
	水	なし
CAS No.	: カタラーゼ(細菌由来)	9001-05-2
	グリセリン	56-81-5
	エタノール	64-17-5
	水	7732-18-5
危険有害性成分	: エタノール	

4. 応急処置

吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合	: 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
目に入った場合	: 直ちに流水で15分以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状	: 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤	: 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	: 普通の泡消火剤
特定の消化方法	: 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収、中和	: 漏洩した液は布、紙などで拭き取り、空容器に回収する。漏洩した場所は、水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の装置

取り扱い

技術的対策 : 皮膚に付れたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。

炎、火花または高温体との接触を避ける。

静電気対策を行い、作業衣、靴等も導電性の物を用いる。

注意事項 : 密閉された装置、機器、または局所排気装置を使用する。取扱いは換気の良い場所で行う。

安全取扱い注意事項 : 酸化剤と接触させない。

保管

適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。

可燃物を近くに置かない。

安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン等。

塩化ビニル(軟質)は使用しない。

8. 暴露防止措置

設備対策 : 取扱いには、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会(2009年度版)

: 設定されていない。

ACGIH(2009年度版)

: 1000ppm(TLV-STEL)(エタノールとして)

: 10mg/m³(TLV-TWA)(グリセリンとして)

保護具

呼吸器用の保護具 : 防毒マスク(有機ガス用)または送気マスク

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

皮膚および身体保護具

: 保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

9. 物理・化学的性質

形状 : 液体

色 : 茶色または緑褐色

臭い : 微臭

pH : 7~8

引火点 : 55°C

密度 : 約1.04g/cm³

溶解性

溶媒に対する溶解性 : 水 ; 自由に混合

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件で安定である。
反応性 : 蒸気は空気と爆発性の混合物を形成する。
避けるべき条件 : 日光、熱、裸火、高温、スパーク
混触危険性物質 : 酸化性物質
危険有害な分解生成物 : データなし。

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 : データ不足のため分類できない
経皮 : データ不足のため分類できない
吸入(蒸気) : データ不足のため分類できない
吸入(粉塵・ミスト) : データ不足のため分類できない
(エタノールとして)
ラット 経口 LD50=6.2-17.8g/kg
イヌ 経口 LD50=5500mg/kg
ラット 経入 LD50=31600mg/4H(蒸気として)
ラット 経入 LD50=63000mg/4H(ミストとして)
(グリセリンとして)
ラット 経口 LD50=27200mg/kg
マウス 経口 LD50=26g/kg
ウサギ 経皮 LD50>18700mg/kg
皮膚腐食性・刺激性 : データ不足のため分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 眼刺激(区分2B)
エタノールが眼に対して刺激性がある(区分2B)に分類される。
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない
皮膚感作性 : データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない
発がん性 : 区分1A
エタノールが発がんのおそれ(区分1A)に分類される。
生殖毒性 : 区分1A
エタノールは、生殖能または胎児への悪影響のおそれ(区分1A)に分類される。
特定標的臓器・全身毒性―単回暴露 : データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性―反復暴露

- ：長期または反復暴露による肝臓の障害(区分1)
：長期または反復暴露による中枢神経系の障害のおそれ(区分2)
- 呼吸性呼吸器有害性 : データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性

: 水生毒性(急性): データ不足のため分類できない

水生毒性(慢性): データ不足のため分類できない

(エタノールとして)

甲殻類 (オオミジンコ) LC50=5463.9mg/l/48H

(グリセリンとして)

甲殻類 (オオミジンコ) LC50=153000mg/l/48H

残留性/分解性

: 容易に生物学的に分解する。

生体蓄積性

: データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

: 多量の水で希釈し、pHを中性に調製した後、下水に流す。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器

: 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

(エタノールとして)

国内規制

消防法

: 危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体

道路法

: 施行令第19条の13(通航制限物質)

船舶安全法

: 危規則第3条危険物告示別表第1引火性液体類

航空法

: 施行規則第194条危険物告示別表第1引火性液体類

国連分類

: クラス3 (引火性液体) 等級II

国連番号

: 1170

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号

: 127

海上規制情報

UN No.

: 1170

Proper shipping name : ETHANOL
Class : 3
Sub : -
Packing group : II
Marine pollutant : Not applicable

航空規制情報

UN No. : 1170
Proper shipping name : Ethanol
Class : 3
Sub : -
Packing group : II

(グリセリンとして)

国内規制

消防法 : 危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体
国連分類 : 分類基準に該当しない。
国連番号 : 1170

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法 : 非該当(エタノール濃度が60wt%未満のものは危険物から除外)
化学物質管理促進法 : 非該当
毒物及び劇毒物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 法第57条(令第18条)名称等を表示すべき危険物及び有害物(政令第61号)「エタノールを0.1%以上含有する物」
法第57条の2(令第18条の2)名称等を通知すべき危険物及び有害物(政令第61号)「エタノールを0.1%以上含有する物」
船舶安全法 : 危規則第2 3条危険物告示別表第1引火性液体類
航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1引火性液体
海洋汚染防止法 : 施行令別表第1表有害液体物質(Z類「エタノール」)

16. その他の情報

参考文献および参照ホームページ等

- 1) Roche Diagnostics社 Catalase Microbial in GlycerolのSAFETY DATA SHEET
- 2) NITE 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

* 本製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成されていますが、必ずしもすべての情報を網羅するものではありませんので、取扱いには充分注意してください

い。また、記載内容は情報提供を目的としたものであり、いかなる保証をなすものではありません。

以上